

ノロウイルス感染を予防する消毒方法

～おう吐物処理・施設編～

感染者のおう吐物や便には多量のノロウイルスが含まれています。
正しい処理方法で感染の拡大を防ぎましょう！

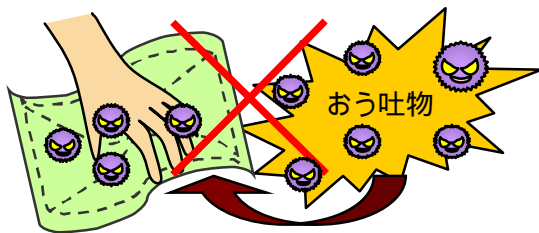
おう吐物や便の中には多量のノロウイルスが・・・



便やおう吐物には1g中に100万～10億個ものノロウイルスが含まれています。

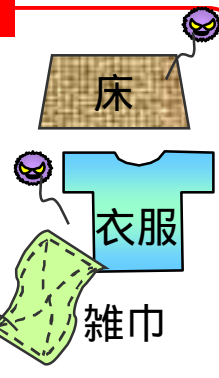
素手で処理しちゃダメ！

ノロウイルスが手についてしまいます！



きちんと消毒！

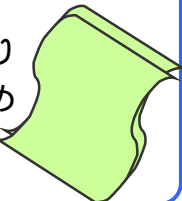
おう吐物で汚れた床や衣類、処理に使用した雑巾などは水洗いだけではいけません。
残ったウイルスは、乾燥すると空气中を漂い、口に入って感染する恐れがあります。



おう吐物の処理～準備するもの～

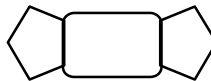
使い捨てタオル、ティッシュ、新聞紙

おう吐物の拭き取りに使用します。多めに用意しましょう。



マスク

おう吐物の微粒子を吸い込まないように必ず使用しましょう。

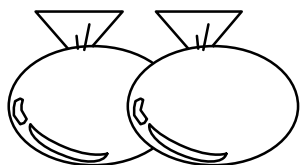


使い捨て手袋、使い捨てエプロン
手袋は2枚重ねて使用しましょう。



エプロンは、大きなビニール袋等を利用して作ってもよいでしょう。

ビニール袋（液漏れしないもの）
おう吐物の廃棄に使用します。
2枚以上用意しましょう。



塩素系漂白剤

おう吐物で汚れた床、衣類の消毒に使用します。

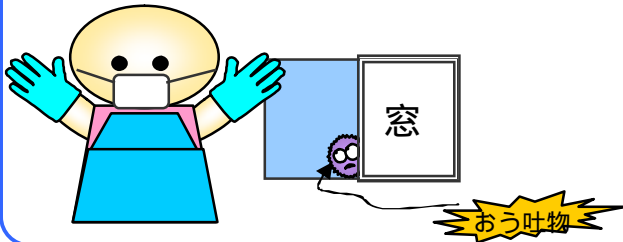


石けん
手指の洗浄に使用します。

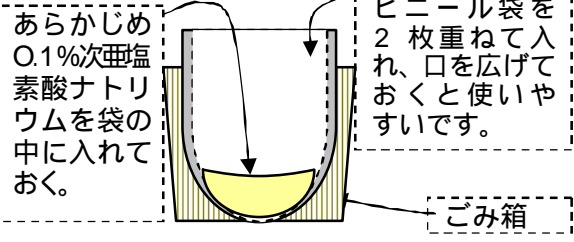


おう吐物の処理～作業手順～

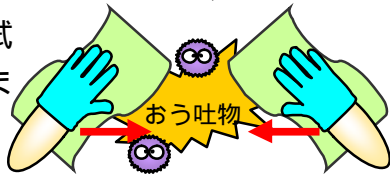
処理を始める前に手袋、マスク、エプロンをします。換気のために窓を開けます。



ごみ箱などにビニール袋を2枚重ねて入れます。

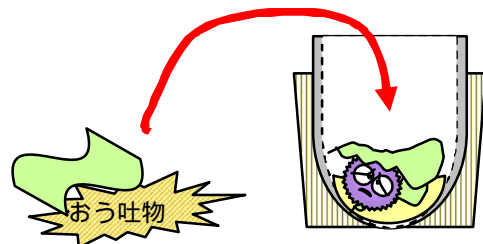


おう吐物を使い捨ての布、ペーパータオルなどで拭き取ります。

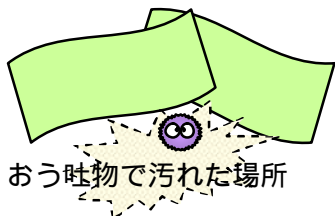


汚れた面でこすると汚染が広がるので注意。外側から内側に向けて、拭き取り面を折りこみながら静かに拭き取ります。

使用したペーパータオル等は、すぐにビニール袋に入れます。

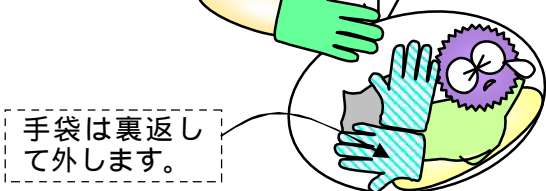


おう吐物を拭き取ったら、汚れた場所をペーパータオルで覆います。

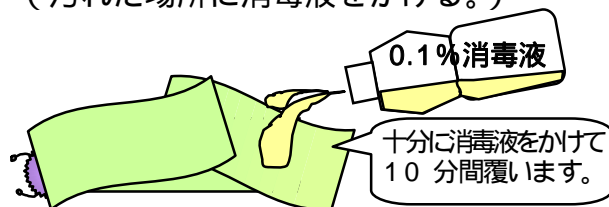


じゅうたんの場合は、直接次亜塩素酸ナトリウムをかけてからタオルで覆います。

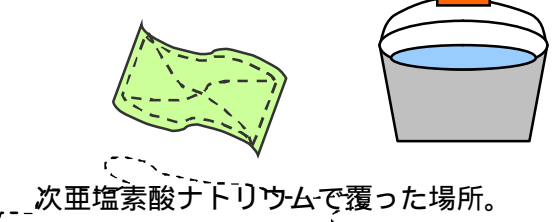
外側の手袋を脱いで、ビニール袋に入れ、内側の袋の口をしっかりと縛ります。



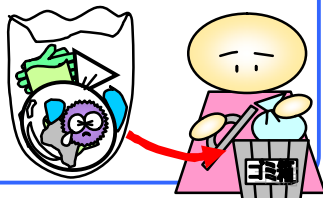
ペーパータオルの上から 0.1%次亜塩素酸ナトリウム液をかけます。(汚れた場所に消毒液をかける。)



10分くらいたったら、水拭きをします。



汚物の入った袋、使い捨て手袋、使い捨てエプロン、マスクをビニール袋に入れ、口をしっかりと縛り、廃棄します。



処理が終わったら、丁寧に手を洗い、うがいをしましょう。



札幌市東区保健福祉部健康・子ども課生活衛生係
札幌市東区北10条東7丁目 711-3213
<http://www.city.sapporo.jp/higashi/>

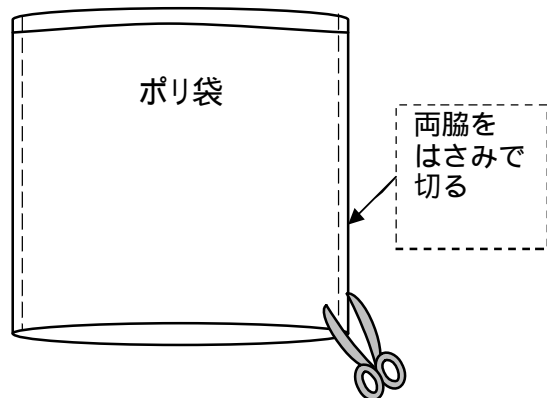
付録 ~ 使い捨てエプロンの作り方 ~

~ 準備するもの ~

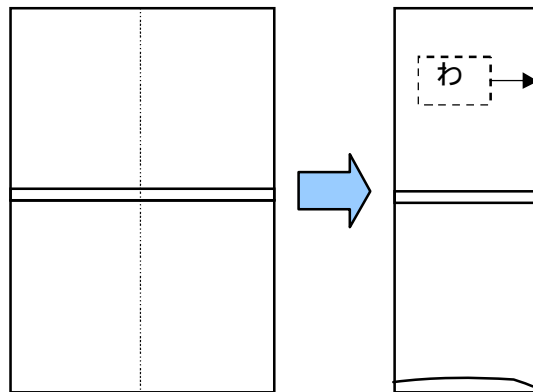
- ・ 70リットルのポリ袋 (800 × 900 mm)
- ・ ハサミ

~ 作り方 ~

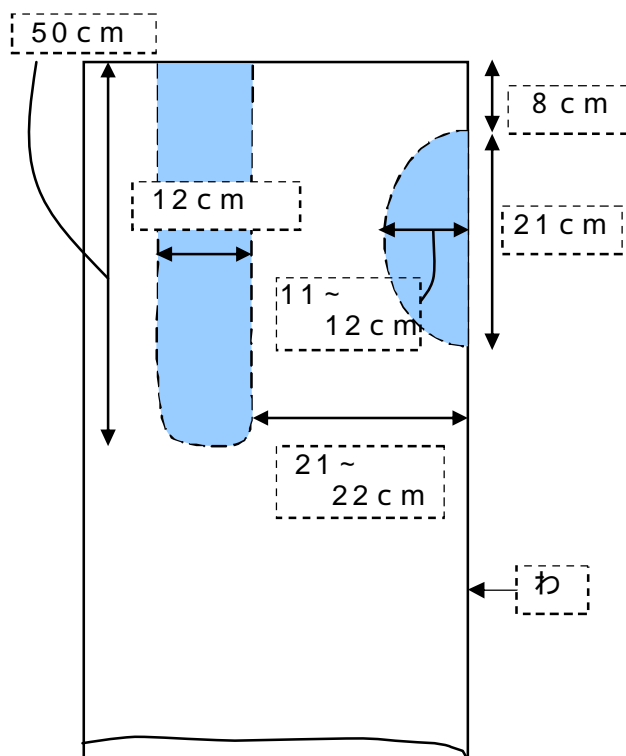
ポリ袋の両脇をハサミで切る。



開いて、縦に2つに折る。



点線部分をハサミで切る。



出来上がり!

